



**ソリュッセ岡山**  
岡山県総合流通センター運営協議会

岡山市北区大内田 714 番地 1  
TEL : (086) 292-5551 / FAX : 292-5552  
E-mail : ryutuu@optic.or.jp

**平成 26 年度 通常総会開催 - 流市法規制緩和要望事項決議 -**



平成二十六年六月二十三日(月)、岡山流通会館にて平成二十六年年度通常総会を一般会員九七名(内委任状出席四〇名)の出席及び岡山県、早島町、岡山・倉敷両商工会議所から特別会員四名をお迎えし、

開催しました。

岡崎会長より「流通業界では、業態を超えた事業展開や製造・配送・販売を一元化した業態変化が進んでいる。当流通センターにおいても、団地完成から三〇年余りが経過し、こういった変化に対応

するためにも流市法の規制緩和が重要であり、加えて道路・交通安全施設の改善・改善などインフラの再整備が必要である。平成二十五年年度事業では、こういった課題について重点的に取り組んできたが十分とは言えず、次年度以降も積極的に取り組む予定である」との挨拶の後、来賓を代表して、岡山県企業誘致・投資促進課の妹尾総括参事よりご祝辞を頂きました。引き続き、岡崎会長が議長に就任し、次の議案を審議、すべて原案どおり承認可決されました。

第一号議案「平成二十五年年度事業報告並びに収支決算報告書の承認について」※富永監事より監査報告。

第二号議案「平成二十六年年度事業計画案収支予算案並びに負担金案の承認について」

第三号議案「流通センター内の規制緩和に関する要望について」

※【二十六年年度の主な事業】

- ① 流通センターの環境整備
- ② 駐車場・交通安全対策
- ③ 害虫駆除・野犬対策
- ④ 街灯・防犯灯の設置
- ⑤ 新愛称

のPR等⑥危機管理対策⑦研修会・講習会等開催⑧情報提供の充実⑨親睦福利厚生事業等⑩流通センター機能向上策の検討⑪その他

**岡山県総合流通センター株式会社 第二十四回定時株主総会**

当協議会総会に先立って、同日十時三十分より岡山県総合流通センター(株)の第二十四回定時株主総会が開催され、事業報告、決算書等の承認に引き続き、取締役の一部選任について承認されました。



なお、取締役の一部選任では、以下の方々が新しく選任されました。

【新任の取締役氏名】

- 桐野伸一 (岡山県産業労働部長)
- 大月秀樹 (岡山市経済局長)

【退任した取締役氏名】

- 高橋・彰 (前岡山県産業労働部長)
- 高次秀明 (前岡山市経済局長)

# 流市法等規制緩和 の早期実現を要望

八月六日(水)岡山県庁において、

当協議会佐藤副会長ほか卸・運輸・

倉庫各組合事務局長同席のもと、二

年前に要望した流市法規制緩和3項

目(①土地利用区分の緩和・撤退、

②立地可能施設の拡大、③建築規制

の緩和)の早期実現を求める要望書

を岡山県産業労働部の大塚企業誘

致・投資促進課長に手渡すとともに、

県独自の入居基準である卸売業の

「農産物の規制緩和」や建築基準法

上の「角地の建ぺい率緩和(20%加

算)規程の適用」についても要望を

行いました。

これに対して、岡山県から県独自の

入居基準である「農産物の規制緩和」

については、岡山卸売市場への影響

など踏まえ、前向きに対処して

いくほか、その他の項目に関して

も流通センターの現状を踏まえ、関

係機関と協議を行うとの意向が示さ

れました。

その後、農産物の規制については、

流通センター内入居企業全体として

の意向であることが確認されれば、

規制を緩和すること、建築規制の緩

# 運営組織の見直しについて 検討を始めました!

当流通センター内の代表的組織と

して、岡山流通会館、簡易郵便局、

コンビニ、レストランなど公益的施

設を運営する岡山県総合流通センタ

ー株式会社(第三セクター)と環境

整備、広報、福利厚生、人材育成な

どソフト面を担当する岡山県総合流

通センター運営協議会の二つの組織

があり、この二つの組織が相互に連

携して当流通センターを運営してお

りますが、団地完成から三十有余年

が経過する中で、組織としての不効

率性、運営協議会が任意団体である

ための対外的信用力の低下のほか、

内外から非常に分かりにくい組織と

の意見も多く寄せられており、代表

組織を明確化するよう改善が求めら

れています。

そこで当協議会では、総務委員会

を中心に現状の問題点を洗い直すこ

とも、一本化した効率の良い運営

組織に改編すべく検討を始めました。

なお、検討にあたっては、流通セ

ンター(株)の大株主で、運営協議会の

参与でもある岡山県のアドバイスを

頂きながら進めていく予定です。

# 《防犯灯・街路灯設置》

昨年七月、当流通センター内の

犯罪及び交通事故等を未然に防止

する目的として、会員企業皆様の

要望をもとに、岡山流通会館南交

差点から室賀ネジ機工にかけての

歩道部二箇所に防犯灯を設置しま

した。

また、別途岡山市へ要望してお

りました会館前横断歩道への街路

灯(二機)についても八月に設置さ

れ、それぞれ供用開始しております

和については、新しく開発する予定  
(平成二十六年年度造成)の早島地区  
拡大地を流市法に適用させる際の都  
市計画審議会に合わせて検討・準備  
をしていくとの意向が示されたほか、  
その場合に実施される都計審の入居  
企業を代表する団体への意見聴取先  
として、現行組織では代表団体とし  
て理解されないとのアドバイスがあ  
り、早期に運営組織の見直しを進め  
ることになりました。

なお、上記以外で防犯灯の設置  
要望が出されているところについ  
ても、関係行政機関において検討  
を頂いております。

## トップセミナー開催 最近の金融経済情勢

三月十七日(月)、岡山流通会館会議室にて、日本銀行岡山支店長 屋敷利紀氏を講師に迎え、平成二十五年度トップセミナーを開催し、四三名(二七社)が受講しました。

講演テーマは「最近の金融経済情勢について」で、量的・質的金融緩和を背景とした金融経済情勢についてお話しを頂きました。

(※以下講演要旨は、三月十七日現在での内容となっております、現在の状況と異なっている場合がありますので、「留意下さい」)



### 【講演要旨】

日本銀行では「量的・質的金融緩和」を導入し、二%の物価安定目標を二年度程度の期間を念頭に出来るだけ早期に実現する事を目指している。上下双方のリスクに対して必要な調整を行っていく、安定的に持続するために必要な時点まで継続する。

**金融緩和の手段**としては、マネタリーベースを年間約六〇〇七〇兆円増加させる。長期国債の保有残高を年間約五〇兆円増加させるなど、二年度でマネタリーベース・長期国債保有残高を二倍もしくは二倍以上にするといった、今までは次元の違う政策をとっている。基本的にはデフレから脱却するためにできる事は何でもやるという考え方で、「二%の物価安定目標」を実現するために、強く明確にコミットするという姿勢をとっている。

**マネタリーベース**に関しては、二〇一三年度末の中間実績では、当初見通しに近い二〇二兆円という結果となり、二〇一四年度末の見通しは二七〇兆円、二〇一三年度末より約七〇兆円増加する予定。

**デフレの問題点**は「物価が上がらない事を前提に行動する」という点で、デフレ状況下においては企業にとつては現金を持っておく方が合理的で新た

な投資はしないと考えられる。そのマインドを変える政策を打ち出そうと考えたのが「量的・質的金融緩和」である。今後物価が上がれば金利が上がらないという認識が定着すると、今のうちに事業を始めたり、設備投資をしようという企業が増えると考えられる。

**景気動向**一致指数は二〇一二年度中頃から七ヶ月連続の改善が見られており、これはリーマンショック前の二〇〇八年二月以来の高い水準となっている。

**公共投資**に関しては、公共工事出来高・請負金額ともに高水準が続いており、名目輸出入に関しては二〇一一年三月の震災以降、輸入が増え、輸出の落ち込みが続いている。輸入が大きく増えている要因としては、今年四月以降の①消費税率の引き上げ、②石油・石炭の環境税が倍になる事、③Windows X Pサポート終了に伴う三つのかけこみ需要があると考えられる。

**実質輸出**の内訳では、二〇一四年度一月期は寒波の影響で米国向けの輸出が伸び悩んでおり、春節休暇の影響では中国・香港向けの輸出が大きく減っている。今後は寒波の影響も和らぎ、米国向け輸出も伸びてくるのではないかと考える。輸入内訳では、二〇一四年度第一四半期は全体的に伸びているものの、

パソコンの駆け込み需要が要因で、四月以降は落ち着いてくると思う。

**設備投資**はかなり上がってきており、設備投資が伸びている背景としては収益の伸びがあると考えられる。

**個人消費**に関しては、小売業販売額が二〇一四年一学期で前年比四・四%と大きく伸びており、六ヶ月連続で前年を上回っており、今後も雇用の改善とともに、個人消費は伸びていくのではと考えられる。

**雇用の過不足感**に関しては、製造業では中小企業で、非製造業では大企業・中小企業ともに「不足」が「過剰」を上回っており、人が足りないという状況で、賃金に関しては一人当たりの名目賃金が前年比を上回っており、労働者数も増えてきている。

**消費者物価**は公共料金、ガソリンだけでなく、その他も上がってきている。今後はGDPギャップ(供給超過)が縮小し、需要超過になっていくので、さらに消費者物価が上がっていくと考えられる。

**岡山県経済**に関しては、業況判断DI推移は全産業で一ポイントになっており、これはバブルの崩壊過程にあった九十二年一月以来二年以上の高水準になり、全国平均よりも高い水準となっている。売上に関して

は非製造業が二〇〇七年の水準を超えているものの、経常利益は下がってきていることから、仕入価格・人件費の上昇を価格に転嫁できていないことが伺える。鉱工業生産指数はリーマンショック前の八割程度。輸出も半分から六割程度は回復しているが、力強さは今ひとつである。設備投資も回復はしてきているものの、リーマンショック前に比べるとまだの所である。百貨店売上高は堅調に推移しているが、全国平均よりは低めとなっている。新車登録台数は昨年七月に大きく落ち込んだものの、今年に入ってから全国平均よりも高めで推移している。雇用に関しては、製造業は過剰感がほぼ解消し、非製造業は不足感が増えており、全体的には不足感が増すなど、雇用状況は順調に回復してきている。

消費者物価指数・コアコアCPIとも全国と同じように高水準で推移しており、消費税率引き上げ前後の動きとしては、百貨店売上高・新車登録台数ともに九十七年の増税時よりも高水準で推移している。

以上のことから、岡山県の経済はゆるやかに拡大してきていると思われる、消費増税後の反動減がどうなるのか、注意する必要があるものの前回の増税時ほどの落ち込みはないと考えられる。

**消費税転嫁対策セミナー**



二月十三日、岡山流通会館会議室で、税理士法人鈴木税理事務所の中野隆志税理士を講師に迎え「消費税転嫁対策セミナー」を開催し、三三名（一二社）が受講しました。

セミナーでは、消費税の新税率施行までの駆け込み需要を取りこぼさないこと、その後の反動減への対応や施行後の増税分回収など、企業が必要とする対策について解説がありました。

《主な説明概要》

①消費者が負担する消費税額は、製造

業者↓卸売業者↓小売業者↓消費者の取引段階ごとに上乗せされ、取引価格の一部として移転（税の転嫁）し、これが転嫁できない場合は、その業者の負担増となるので、要注意。

②消費税は基本的に国内での全ての取引に課税され、土地の譲渡・貸付、住宅等の貸付など、課税対象になじまないものや社会政策的な配慮から「非課税取引」になるものもある。（輸出取引は免税）

③非課税取引は消費税の還付はないが、免税取引は消費税の還付がある。免税事業者とは、前々事業年度の課税売上高が一千万円以下の事業者で、消費税の納税義務が免除される。

④前々事業年度の課税売上高が五千万円以下の事業者は、「簡易課税制度」を選択でき、事業区分により課税標準額に「みなし仕入率」を乗じて仕入控除金額を計算するので、支払う消費税が少なくなれば残る消費税が多くなるので、増税前に仕入をした方がより得になる。

⑤それぞれの会社の会計基準（出荷、検収、納品のどの時点で売上計上をするか）によって、消費税の計上が変わってくるので、全社と取引先との意思を統一する事が必要。

**助成金の「案内**

■受動喫煙防止対策助成金

（厚生労働省所管）  
 ○対象：事業所内に喫煙室を設置、改修する中小企業事業主（業種を問わず）

○条件：喫煙室内に向かう風速が毎秒〇・二m以上の能力を有する施設  
 ○助成率：工事費などの二〇分の一（上限額 二〇〇万円）

○手続き：労働局労働基準部健康安全課に工事計画を提出（約1カ月以上前）交付決定を受けてから着工。工事終了後に実績報告を提出。

■職場意識改善助成金

（厚生労働省所管）  
 ○対象：家庭と仕事の両立支援として時間外労働の短縮等の取組みをする中小企業  
 ○条件：「年次有給休暇の取得促進」と「所定外労働時間の削減」の取組

○助成率：数値目標達成度対象期間は三ヶ月間によって次のとおり支給  
 ①二つの目標を達成した場合四分三

（上限八〇万円）  
 ②どちらか一方を達成した場合八分の五（上限六六万円）

③どちらも未達成の場合二分の一（上限五三万円）

# 交通安全等講習会



二月二十日、岡山流通会館会議室で交通安全等講習会を開催し、三八名(二〇社)が受講しました。岡山県岡山西警察署交通第一課・企画免許係長の角田純枝警部補から「最近の事故発生状況と対策(事故防止)について」などの解説があり、その後で交通安全に関するDVDを視聴しました。

講演では、平成二十五年中に岡山県内にて交通事故で死亡した人は一〇七人、内岡山西警察署管内一四人、倉敷署管内一二人で、死亡人数と総事故件数ともに西署・倉敷署が岡山下下のワースト一・二を占めていることから、当流通センター付近は交通事故に関し

て危険な地域であるとの説明のほか、安全運転の注意説明がありました。

## 《安全運転注意事項》

### 「五・五・五運転」の励行

時速四〇kmで走行中に、相手に気付いてから、急にブレーキを踏んで止まれるまでの距離は約一七m。雨で路面が濡れているとさらに制動距離が伸びるので、特に注意が必要です。

①時速五kmの減速をすれば、飛び出しがあつた時などに物理的な余裕ができ、制動距離を少しでも縮める事ができます。

②五mの余分な車間を取れば、物理的な余裕ができて追突事故を防ぐ事ができます。(参考/大半の道路のセンターラインは五m間隔)

③五分のゆとりを持つ。五分ほど家を早く出て、ゆとりを持って安全運転をすれば、心理的な余裕が出来る、事故を防ぐ事ができます。

## 火災予防訓練実施

三月五日、岡山流通会館会議室で岡山消防署の吉岡消防士ほか三名の消防士のご指導により、春の火災予防訓練を実施し、会員企業三三社より六六名の皆さんが参加しました。

防災講話では、住宅用火災報知機の重要性のほか、大規模自然災害時における非常持ち出し袋の常備、避難マッ

プの確認、事前に家族で話し合うことなど、災害に対して日頃から心がける対応策を中心に解説がありました。

その後、会場を屋外に移し、訓練用水消火器を使用しての実地訓練を行ったほか、消火器の特性など学びました。



《消火器の取扱い注意事項》  
炎でなく火元に向かって掃くように噴射。消火器の大小に関係なく一本の放射時間は一五秒〜二〇秒程度。

## 流通C.内一斉清掃の実施

今年に入り、流通センター内一斉清掃を一月・四月・六月の三回実施しました。

清掃当日は、朝八時より各班毎に分

かれ、毎回三〇〇名前後の参加頂き、道路沿いの枯れ草、大量の落ち葉、空き缶、タバコの吸い殻などを拾い集めたほか、六月の実施では、ゴミ拾いのほか道路沿いの雑草刈りに汗を流しました。

各回の参加状況は以下のとおりです。

### 【平成二十五年第四回実施分】

実施日 一月十七日(金)  
参加数 二九七人(二一三社)

### 【平成二十六年第一回実施分】

実施日 四月二十二日(火)  
参加数 三二〇人(一一四社)

### 【平成二十六年第二回実施分】

実施日 六月二十日(金)  
参加数 三三二人(一一四社)

※次回の一斉清掃は十月十七日(金)を予定しておりますので、ご協力のほどよろしくお願ひします。

なお、当協議会では、日常の各事業所周辺清掃・ボランティア清掃の清掃用具を無料で貸し出しております。必要な方はお申し出下さい。

### 【貸し出し用具】

草刈り機、高枝ばさみ、チェーンソー、ヘッジトリマー(植木バリカン)、スコップ(丸・角)、ジョレン、ねこ車、鎌、ほうき、熊手

# 親睦ボウリング大会

《成績／トータルスコア》

◎男子の部 優勝 宮崎 耀司 さん  
(東海澱粉(株) 三三九点)



◎女子の部 優勝 西 明美 さん  
(平松エンタープライズ(株) 二二八点)



**準優勝**

○男子 長田 和也さん(ヒカリ産業(株))

○女子 大橋 加代子さん(株常照園)

**第三位**

○男子 畑山 翔さん(株あらた)

○女子 半田 麻穂さん(株外林)

五月一四日(水)、サンフラワーボウルにおいて、流通センター親睦ボウリング大会が開催され、会員企業一五社より一三四名が参加して、賑やかに

開催されました。

当日は、仕事の疲れを忘れ、日常では触れ合えない良いコミュニケーションの場となったのではないのでしょうか。

平成二十六年度上期

## 文化教室開講中

平成二十六年度上期、日常英会話教室が四月二日(水)より、実用習字教室が四月八日(火)よりそれぞれ開講しました。同教室は、今年九月末までの半年をかけて、個々の能力に応じた一定の成果を目指して運営されます。

また、中途加入もできますので、関心のある方は、是非一度教室見学にお越し下さい。



○日常英会話教室 毎週水曜日  
一七時四五分～一九時四五分

○実用習字教室 毎月第二・第四火曜日  
一八時〇〇分～一九時三〇分

※受講料は一般料金より格安設定しておりますので、詳細は各社ご案内の開催要項をご覧頂くか、当協議会事務局までお問合せ下さい。

## 献血に感謝申し上げます



一月二十七日(月)、岡山流通会館へ岡山県赤十字血液センターの献血バスが来訪し、二四名の方の申し出頂きその内二〇名の方から貴重な血液(今回は四〇〇ml)をいただきました。献血による血液は、血液センターの精密な検査を経て、血液製剤となり、必要とする医療機関へ届けられます。

# 従業員数等調査結果

(平成二十六年五月一日現在)

回答のあった事業所一一一社(前年度一一〇社)の従業員数合計は四、一三三名で、前年度の四、二四四名と比べると若干減少しております。

その内訳を見ると、正社員は九一名増加する一方、パート及び嘱託社員は二〇二名減少し、全従業員数に占める正社員の割合は、ここ十数年続いた正社員の占有率低下に歯止めがかかり、昨年の五九・六%から今年は六三・四%に増加しました。

## 《平成26年度流通センター内労働者数及び売上高一覧表》

( )は前年度 平成26年5月1日現在

区分	正社員			パート 嘱託等	総計	流通センター内 年間売上高 (単位:百万円)
	男性	女性	計			
吉備地区 76社	1,333	303	1,636	813	2,449	300,051
	(1,422)	(314)	(1,736)	(897)	(2,633)	(314,406)
早島地区 35社	824	162	986	698	1,684	107,552
	(657)	(138)	(795)	(816)	(1,611)	(111,118)
合計/111社 (110社)	2,157	465	2,622	1,511	4,133	407,603
	(2,079)	(452)	(2,531)	(1,713)	(4,244)	(425,524)

※年間売上高は、物流施設の取扱高を含むなど各社個別の算出基準により算出したものや非公表企業もありますので、参考数値としてご欄下さい。

## 会員企業紹介



# 株式会社ギオン

～運ぶちから、未来をつくる～

GIONグループは、国内に50以上の拠点をもち、5つの関連会社と共にビジネスを展開する総合物流企業です。

当社は1965年創業以来、相模原に本社を構え、時代と共に成長してまいりました。「物流」「健康」「環境」事業からなる幅広い事業を展開しており、パートナーと共に様々な分野で開発や生産・製造などをサポートする役割も担っています。また、環境保全及び地域社会貢献の観点から、物流事業においては、動脈物流だけでなく静脈物流も手がけ、循環型総合企業へ発展してまいりました。

新たなビジネス領域では豊富な経験と情報を活かし、物流・金融・マーケティングなどの機能を融合させながら付加価値の高いサービスを提供することを目指しています。そして、異なる事業を組み合わせたり、物流事業の強みを活かしてお客様の間に立って結びつきをコーディネートすることも重要な役割と考えています。

GIONグループは、常に自らを変革し、ビジネスに必要とされる最先端の機能を追求してまいります。そのため、健全な財務力と高いリスク管理機能を備えることはもちろん、先見性と構想力、創意工夫を働かせる知恵を重んじてきました。これからも、皆様の信頼を得ることをモットーにし、どんな時代でも変わることなく、社会に役立つ企業として邁進したいと考えます。

本 社 〒252-0253  
神奈川県相模原市中央区南橋本1-5-1  
TEL : 042-771-1151(代)

岡山センター 〒701-0301  
岡山県都窪郡早島町矢尾807-2  
TEL : 086-292-1010



岡山センター社屋

## 共同施設PR



### ココストア 岡山流通センター店

〒701-0165  
岡山市北区大内田711-2 TEL 086-292-6881

ココストア 岡山流通センター店は、  
24時間営業・年中無休。

店内の厨房で作った、美味しい手作り  
「お弁当、お惣菜、おにぎり、調理パン」  
をご用意して、皆様のお越しを  
お待ちしております。



ソリュッセ岡山

### 「岡山流通センターSS」

社員(個人)限定

▲3円タイムセール!

流通センターにお勤めの現金会員(個人)の方は、  
毎週金曜日 14時～20時の間、ガソリン・軽油を  
給油される場合、

※現金会員価格から更に▲3円で販売します。

※現金会員価格はR2号パイン平均価格同等以下で設定。

ポンタカードで更にお得給油!

入会金・年会費等一切不要!  
便利でお得なポンタカードを是非ご利用  
下さい。申込詳細はSS店頭まで。



Shell マティクス (コンビ=COCOストア西隣)

TEL 086-903-3006 担当: 白神支配人

会議等報告

岡山県総合流通センター運営協議会

◎二十五年第二回総務委員会

三月七日

◇平成二十五年収支見込及び平成二十六年予算骨子案を検討しました。

◇流市法規制緩和の要望事項について検討しました。

◇流通センターの環境改善に関する意見・要望内容を踏まえた今後の対応策について検討しました。

◎二十六年第一回総務委員会

五月二十日

◇平成二十五年通常総会提出案の内容等を検討しました。

◇防犯灯設置ほか、環境整備に関する対応策や行政機関への要望事項などを検討しました。

◎二十六年第一回役員会

六月四日

◇平成二十六年通常総会提出環境改善に関する意見・要望内容を踏まえた行政機関への要望事項について検討しました

岡山県総合流通センター株式会社

◎二十六年第一回取締役会

六月四日

◇第二十四回定時株主総会提出議案の内容を検討しました。

会員動向(平成二十六年一月以降)

◆流通センター内代表者異動(敬称略)

※平成二十六年一月以前に異動し、今回判明した分を含みます。

アシード(株) 岡山支店 坂井 孝好

(旧) 長谷川 誠

(株)あらた 岡山支店 中野 克彦

(旧) 伊田 幸生

ディーアイエス物流(株)岡山センター 芝政 二郎

(旧) 浜 日出海

瀬野川産業(株)岡山営業所 手島 幸宏

(旧) 靄久 幸生

岡山土地倉庫(株)流通センター営業所 上田 信行

(旧) 岡本 正彦

全農物流(株)西日本支社岡山営業部 岩室 栄一

(旧) 高谷 利光

(株)日本アクセス 岡山支店 和田 龍裕

(旧) 柏原 茂樹

(株)サンゲツ 中国四国支社 美根 陽介

(旧) 佐々木 修二

(株)トーヨーフードサービス 岡山支店 石井 典政

(旧) 高橋 伸治

◆名称・組織変更

(株)サンゲツ 中国四国支社

(旧) 岡山店

※社名・代表者等に変更があった場合は、早急に協議会事務局まで届出をお願いします。(FAX可)

お願

い

し

ま

求人情報をお寄せ下さい



流通センター内事業所の人材確保と地域の雇用促進を図るため、求人情報の収集・提供を行っております。

求人内容を、岡山流通会館一階通路に掲示するとともに、早島町無料職業紹介所HPにも掲載するほか、各種機会を通じて、会員事業所並びに周辺地域の皆様へ情報発信しています。

夏季の軽装キャンペーン

地球温暖化防止及び省エネルギーの推進のため、冷房温度を28度の徹底による電力使用の節減と、夏季の軽装(ノーネクタイ、ノー上着)にも事務局では取り組んでいます。皆様方のご理解とご協力をお願いします。

【実施期間】

五月上旬

一〇月下旬



編集ノート

福島第一原発事故から三年が経過しましたが、収束に向けた道筋が一向に見えてきません。それどころか放射能・汚染水漏れなど不安が増すばかりで、その要因には単純な作業ミスも含まれる始末です。本当に大丈夫なのでしょうか。何十年か後に「あの時、対策をきちっと取っていたら」「事実を公表していれば」というようなことにならないよう、国と東電は真実を隠すことなく真摯に取り組んでもらいたいものです。

今年十一月、「イオンモール岡山」が開業します。林原モータープールが閉鎖されてから三年足らず、年間二千万人の集客を見込む大規模商業施設が誕生するなど誰が想像していたでしょうか。周辺住民・企業はもちろんのこと、三井アウトレットパーク倉敷や表町エリアなどへも大きな影響を与えることは間違いないささうです。今後、岡山駅前周辺を中心に県南商業施設の人の流れがどうなっていくのか、中・四国最大級の都市型大規模モールとはどんな施設なのか、暫くは期待と不安が続きそうです。